

教育的ニーズに応じた指導・支援の充実

通常の学級に在籍する発達障害を含めた障害のある幼児児童生徒の教育的ニーズに対し、自立と社会参加を目指して、適切な指導や必要な支援が計画的・組織的に行われるようにする。

的確な実態把握に基づく適切な就学に向けた相談・支援

- ◇幼児児童生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等を的確に把握し、適切な就学に関する相談・支援を行う。
 - ・将来のよりよい社会的自立に向けて、見通しをもった早期からの対応
 - ・幼児児童生徒の教育的ニーズに応じた合理的配慮の決定及び提供
 - ・保護者、異校種、関係機関との連携・協力による就学に関わる相談の充実
 - ・異校種間の接続期における支援内容の確実な引継ぎ
(個別の教育支援計画等の活用、授業参観、情報交換会等)

一人一人の困難さに寄り添った指導・支援の工夫

- ◇一人一人の困難さを把握し、教育的ニーズに応じた支援方法を工夫する。
 - ・通常の学級における、特別支援教育の視点を取り入れた「分かる」「できる」授業の構築
(「特別支援教育の視点を取り入れた授業自己チェックリスト」等)
 - ・互いのよさや違いを認め合い、自尊感情を高める学級集団の形成
 - ・個別の教育支援計画や個別の指導計画を活用した指導・支援の充実
(通常の学級、通級による指導、特別支援学級)
 - ・幼児児童生徒の教育的ニーズに応じた教育課程の編成
(通級による指導、特別支援学級)
 - ・自立活動の時間はもとより、学校の教育活動全体を通じて行う自立活動の指導
(通常の学級、通級による指導、特別支援学級)

共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育む交流及び共同学習^{*4)}の充実

- ◇相互の触れ合いを通じて、互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合うことの大切さを学ぶ交流及び共同学習の機会の設定と充実を図る。
 - ・学校全体で計画的かつ組織的に取り組む交流及び共同学習の実施
 - ・通常の学級と特別支援学級との日常的な交流及び共同学習の実施
 - ・特別支援学校在籍幼児児童生徒の居住地校などとの交流及び共同学習の充実
 - ・地域の障害のある人との交流の推進

<*4 交流及び共同学習>

障害のある幼児児童生徒と障害のない幼児児童生徒と一緒に参加する教育活動。相互の触れ合いを通じて豊かな人間性を育むことを目的とする交流の側面と、教科等のねらいの達成を目的とする共同学習の側面がある。相互の必要な体制を整えた上で行う。

■関連資料

- 特別支援教育の視点を取り入れた授業自己チェックリスト
- 自立活動 指導目標・指導内容設定シート
- ICT教材等データベース
- 特別支援マスター指標

以上、香川県教育委員会特別支援教育課ホームページ

【<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkyoui/tokubetsushien/syokai/organization/kfvn.html>】



- 「合理的配慮」実践事例データベース

国立特別支援教育総合研究所インクルーシブ教育システム構築支援データベース【<http://inclusive.nise.go.jp/>】

